

JR連合2018春季生活闘争 グループ労組連絡会FAXニュース No.19

2018年 5月31日

日本鉄道労働組合連合会

JR東海・西日本・九州連合の6単組が妥結

要求88単組のうち、妥結は77単組に

2018春季生活闘争の取り組みにおいて、JR東海連合・JR西日本連合・JR九州連合に加盟する6単組が春闘交渉を妥結した。4月26日に東海キヨスク労組、まねき食品労組、5月22日にJR東海情報システム労組、同28日にJR東海コンサルタント労組、同29日に東海交通事業労組とJR九州メンテナンス労組がそれぞれ会社から回答を引き出している。

東海キヨスク労組【4月26日妥結】

- ・ 定期昇給 実施
- ・ 年間臨給 5.10 ヲ月

まねき食品労組【4月妥結】

- ・ 定期昇給 平均2,300円
- ・ ベースアップ 1,000円

JR東海情報システム労組【5月22日妥結】

- ・ 定期昇給 実施
- ・ ベースアップ 1,000円
- ・ 夏季手当 2.85 ヲ月

JR東海コンサルタント労組【5月28日妥結】

- ・ 定期昇給 標準乗数4
- ・ ベースアップ 社員 1,100円
専任・嘱託社員 550円
- ・ 夏季手当 2.95 ヲ月

東海交通事業労組【5月29日妥結】

- ・ 定期昇給 標準乗数4
- ・ ベースアップ 500円
- ・ 乗務員手当の改正

JR九州メンテナンス労組【5月29日妥結】

- ・ 定期昇給 平均3,651円(1.67%)
- ・ 夏季手当 一般社員【6A・6B・6C・7A等級】1.5ヵ月+13,000円
一般社員【7B等級】1.5ヵ月+25,000円
新卒者【4/1~5/31の採用者】20,000円

47単組でベア回答、制度改善等でも成果

JRグループ労組連絡会に加盟する93単組のうち、これまでに88単組の要求書提出を確認しているが、昨日までに87.5%にあたる77単組が春闘交渉を妥結した。このうち、ベアを獲得した単組数は「47」に及び、既に昨年のベア獲得単組数(43)を上回っている。この背景には、グループ会社の堅調な業績のほか、各単組が粘り強く交渉を展開してきたことや、JR各単組がグループ会社の窮状を訴え、JR各社に対して労働条件の向上や安全確立にむけた原資の創出を従来以上に強く求めたこと、人材の確保・育成のための処遇改善の必要性に経営側が理解を示したことなどが挙げられる。そして、賃金改善以外にも多くの単組で休日増を含む年間総労働時間の短縮や永年勤続表彰制度の新設、福利厚生制度の充実などの制度改善に関する回答を引き出していることから、JRグループ全体における「底上げ・底支え」「格差是正」は確実に前進したものと認識する。

しかし、11単組が現在もなお交渉中であることや、未だに要求書提出・交渉状況の確認ができていない単組もあることから、各エリア連合と連携し取り組みを一層強化していく。

以上